

特別高圧
高圧電力対象

2024年9月初版



アーバンエナジー 株式会社

上限付き

工場やオフィスなど特に日中に電気を多く使う法人様向け

市場連動型プラン で電気代をお得に！

アーバンエナジーの
市場連動型プランの特長

1

例：2022年

万一の電力市場高騰リスクに備えた

当社独自の
上限付き
プランのご提案

2

例：2023年

電力市場が安価な際

電気料金
大幅削減
可能！

3

当社保有の環境価値と組合せ

CO2削減
も可能！

「上限付き市場連動型プラン」の電気料金削減イメージ (当社提案例)

関西

**14%
DOWN**

契約電力 2,000kW
負荷率 30%

約 13,500 万円/年

電気料金削減金額

約 **11,600** 万円/年

東北

**26%
DOWN**

契約電力 10,000kW
負荷率 50%

約 123,000 万円/年

電気料金削減金額

約 **90,800** 万円/年

東京

**16%
DOWN**

契約電力 4,000kW
負荷率 26%

約 25,000 万円/年

電気料金削減金額

約 **21,000** 万円/年

※上記は2023年度データを基にした当社提案例であり、実際の電気料金はご使用の状況や電力市場の状況によっては高くなる場合もあります。



電力に関するお問い合わせ



TEL **045-505-7878**

アーバンエナジー株式会社 営業戦略部

横浜市鶴見区末広町二丁目1番地

<https://u-energy.jp>



市場連動型プランとは

電気代が大幅に安くなる
時間帯を有効活用

太陽光発電が可能な晴天昼間の時間帯は、
市場価格が安価となる傾向があり、
日中に電気を多く使用することで電気代削減。



2022年のような市場高騰時、
酷暑・厳冬の影響で電力が逼迫した際には、
電気代が高額となるリスクもある。

市場価格高騰のリスク

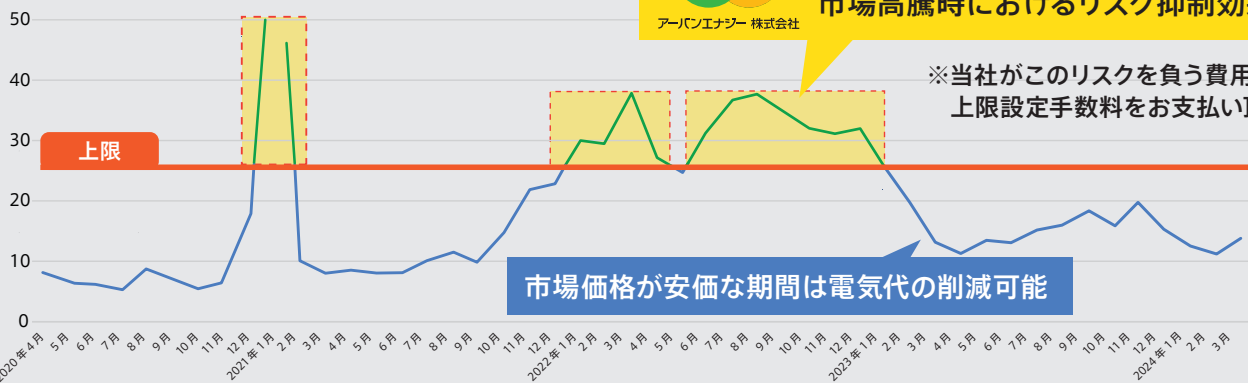


そこで!

市場価格が高騰した際に電気料金の値上がりを抑制する

「上限付き市場連動型プラン」のご提案

市場価格円/kWh



直近4年間における東京エリアの各月市場価格推移

比べてみました



	固定価格プラン	市場連動型プラン
基本料金	固定単価 (各小売り電気事業者にて設定)	固定単価 (託送基本料金)
容量拠出金調整額	—	固定単価 (年度で変動)
従量料金	固定単価 (各小売り電気事業者にて設定)	毎月変動 ✓ (市場価格に連動) + 事業運営費(固定)
変動要因	燃料の輸入価格(原油、LNG、石炭、為替) 卸電力市場価格	卸電力市場価格
燃料費等調整額	毎月変動	0円 ✓
再エネ賦課金	固定単価 (年1回変動)	固定単価 (年1回変動)

